

エコアクション21 環境経営レポート

(令和3年10月～令和4年9月)

第47期



令和 4年 9月 30日

 香椎建設株式会社

福岡市東区千早二丁目3番37号

<http://www.kashi-i-kensetsu.co.jp>

目次

- I. 環境経営方針
- II. 組織の概要
- III. 環境経営目標
- IV. 環境経営計画の内容
- V. 環境経営目標の実績
- VI. 環境経営計画の取組結果の評価及び次年度の取組内容
- VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認、及び評価の結果並び
に違反・訴訟等の有無
- VIII. 代表者による評価と見直し結果



I. 環境経営方針

香椎建設株式会社は、建設業の活動を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令遵守のもと環境経営を継続的に改善していきます。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取組を行う。
 - (1) 事業活動に使用する、車両・建設機械等の燃費改善に努め、二酸化炭素排出量を削減する。
 - (2) 事業所・作業所の節電を心がけ、使用量を把握し、省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (3) 事業所・作業所の総排水量を把握し、節水をする。
 - (4) 建設廃棄物の発生抑制・再利用を推進して、最終処分量を削減する。
 - (5) 建設資材に可能な限り再生品を使用する。
 - (6) 環境、人に配慮した、「無添加住宅」の営業事業を通じ、持続可能な社会の啓蒙活動を行なう。
 - (7) 工事現場での塗料等の化学物質を適正に管理する。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
4. 環境経営レポートを作成して公表する等で、環境コミュニケーションを推進する。
5. 働き方改革への対応を通じて業務の効率化を推進する。
6. 若年層の人材を確保、育成し、技術の継承、品質の維持に努める。

企業理念

テーマ 建築を通して価値、信頼、幸福を創造し地域社会に貢献する。

一、価値の創造

私たちは建築を通して、人生、建築物、環境の価値づくりをめざします。

一、信頼の創造

私たちは建築を通して、お客さま、社員、会社、社会の信頼づくりをめざします。

一、幸福の創造

私たちは建築を通して、お客さま、社員、会社、社会の幸せづくりをめざします。

品質方針

受注目標の達成、原価管理の厳守、品質管理の向上により

会社の成長を図り、顧客満足及び地域社会の繁栄に貢献する。

〔制定〕平成 22年 10月 1日

〔改定〕平成 30年 10月 1日

〔改定〕令和 2年 10月 1日

〔改定〕平成 27年 10月 1日

〔改定〕令和 1年 10月 1日

〔改定〕令和 3年 10月 1日

 香椎建設株式会社

代表取締役 **城戸幸信**

Ⅱ．組織の概要

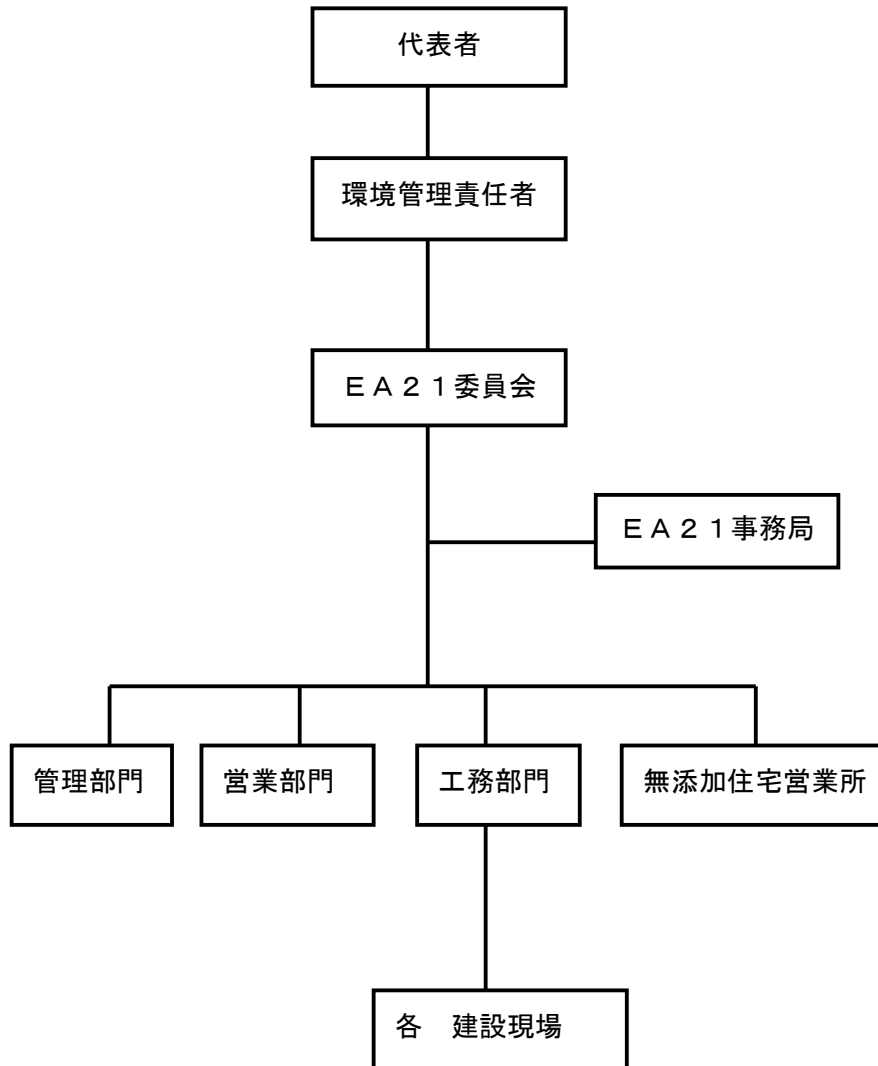
1. 名称及び代表者名
香椎建設株式会社
代表取締役 城戸 幸信
2. 所在地
福岡市東区千早二丁目3番37号（本社）
糟屋郡久山町大字久原字野添3766（無添加住宅営業所）
3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
責任者 山口 健二
担当者 稲田 亜矢子
連絡先
TEL：092—661—5461 FAX：092—661—5484
URL：<http://www.kashii-kensetsu.co.jp>
4. 事業内容
建築工事業、大工工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業
タイル・レンガ・ブロック工事業、一級建築士事務所
許可番号：福岡県知事許可（特-2）第6848号
5. 事業の規模

47期	売上額 (単位:百万円)	従業員 数 (人)	本社事務所 床面積(m ²)	無添加住宅 事務所・倉庫 床面積(m ²)
R3.10月～R4.9月	1,861百万円	25人	608.48 m ²	1005.13 m ²

6. 事業年度
事業年度は、10月1日より翌年9月30日まで。
7. 対象範囲
全社・全組織・全活動を対象とします。
8. 認証登録対象活動
建築工事業、大工工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業
タイル・レンガ・ブロック工事業、一級建築士事務所

9. 認証登録組織
本社、無添加住宅営業所

実施体制図



Ⅲ. 環境経営目標

当社は、第45期、第46期、第47期（令和3年10月～令和4年9月）の環境経営目標を下記のように定めました。

環境経営目標

項目	目標	単位	基準値	第45期	第46期	第47期
1	二酸化炭素排出量の削減 （活動の電力＋燃料） 本 社 （第47期までに1.5%削減させる）	kg-CO ₂ （削減率）	78,722.22 （第44期実績）	44期 99.5% 78,328 ▲ 0.5	44期 99% 77,934 ▲ 1.0	44期 98.5% 77,541 ▲ 1.5
	二酸化炭素排出量の削減 （活動の電力＋燃料） 無添加営業所 （第47期までに1.5%削減させる）	kg-CO ₂ （削減率）	7,364.48 （第44期実績）	7,327 ▲ 0.5	7,290 ▲ 1.0	7,254 ▲ 1.5
	二酸化炭素排出量の削減 （活動の電力＋燃料） 現 場 （第47期までに1.5%削減させる）	kg-CO ₂ （削減率）	26,341.88 （第44期実績）	26,210 ▲ 0.5	26,078 ▲ 1.0	25,946 ▲ 1.5
2	廃棄物排出量の削減（一般廃棄物） （第47期までに 1.5%削減させる）	kg	538.00 （第44期実績）	535 ▲ 0.5	532 ▲ 1.0	529 ▲ 1.5
		%（削減率）				
3	産業廃棄物の内、混合廃棄物の排出量（率）の削減を図る	%	総排出量 196.291t 内混合廃棄物 t 121.550t （率61.9%）	60.9% （率） ▲1%	58.9% （率） ▲3%	56.9% （率） ▲5%
		%（削減率）				
4	排水量の削減（全活動の節水） 本 社 （第47期までに1.5%削減させる）	m ³	130.00 （第44期実績）	44期 99.5% 129.3 ▲ 0.5	44期 99% 128.7 ▲ 1.0	44期 98.5% 128.0 ▲ 1.5
	排水量の削減（全活動の節水） 無添加営業所 （第47期までに1.5%削減させる）	m ³	47.00 （第44期実績）	46.7 ▲ 0.5	46.5 ▲ 1.0	46.2 ▲ 1.5
	排水量の削減（現場活動の節水） 現 場 （第47期までに1.5%削減させる）	m ³	873.00 （第44期実績）	868.6 ▲ 0.5	864.2 ▲ 1.0	859.9 ▲ 1.5
5	「無添加住宅」事業を通じ、地球環境と生態系、人への負荷の少ない建築を進める。	億円	1.25 （第44期実績）	1.8	1.9	2.0
	グリーン購入の推進	円% （購入率）	54.5% （第44期実績）	55.0% 0.5	55.5% 1.0	56.0% 1.5
	再生資材の使用の促進	t	再生CR40 906.26t	44期 103% 933t	44期 105% 951t	44期 107% 969t
		%（増加率）	再生アスファルト 142.65t （第44期実績）	146t	149t	152t
地域貢献活動	事務所周辺清掃活動	回	新規	年間12	年間12	年間12
	地域清掃活動参加			1	1	1

※二酸化炭素排出量は、平成29年度九州電力の排出係数0.463kg-CO₂/kWhで計算している。

IV. 環境経営計画の内容

環境経営目標を達成するために下記のような環境への取り組みを行いました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の1.5%削減

【事務所】

- ① 社内で節電シールを貼る。
- ② エアコン設定温度を決め、実行する（冬23度・夏26度）
- ③ エアコンフィルターの清掃
- ④ 昼休みの消灯運動
- ⑤ 退出時のOA機器の主電源OFF
- ⑥ 従業員はエレベーターの使用を控える。

【現場】

- ① エアコン設定温度を決め、実行する（冬23度・夏26度）
- ② 昼休みの消灯運動
- ③ 退出時のOA機器の主電源OFF
- ④ 工具利用作業の効率化による節電

(2) ガソリン使用量の1.5%削減

- ① エコドライブの推進
- ② 車両の整備指導
- ③ 「エコドライブ10のすすめ」の配布

(3) 軽油使用量の1.5%削減

- ① トラックのエコドライブ推進
- ② 重機運転における省エネ
- ③ 「省燃費運転マニュアル」の配布

2. 廃棄物排出量（一般廃棄物）の1.5%削減

(1) 可燃ごみ、紙の排出量の把握

- ① 裏紙の利用
- ② 両面コピー等の活用
- ③ ペットボトルの回収、リサイクルボックスへの持込
- ④ シュレッダーの利用を、重要書類のみにする。
- ⑤ 可燃ごみ、紙の排出量の把握

3. 産業廃棄物の混合廃棄物の排出量（率）の削減を図る。

混合廃棄物の排出量の割合を低減する。

- ① 無添加住宅営業所からの排出量の削減。
- ② 各現場の分別収集を徹底させる。

4. 全活動の総排水量の1.5%削減

(1) 節水活動

- ① 節水シールの貼り付け
- ② 節水活動の推進

5. 建築物等の環境性能の向上及びサービス改善

5-1. 「無添加住宅」の営業促進

- ① 無添加素材の使用提案・促進
- ② 環境と人に配慮した「無添加住宅」の啓発と販売の推進

5-2. グリーン購入の推進（目標購入率 56.0%）

- ① 事務用品のグリーン購入率のUPを図る。
- ② グリーン購入手順書の作成

5-3. 再生資材の使用の促進（7.0%増加を図る）

- ・再生CR40使用の促進を行う。
 - ・再生アスファルト使用の促進を行う。
- ① 資材発注において、再生材使用の可能性を検討し、可能な場合は確実に再生材を利用する。
 - ② 環境負荷の自己チェック表に掲げた資材の調達量を把握し、責任者へ報告する。

5-4. 地域貢献活動

- ① 本社事務所周辺の清掃活動を実行する。
- ② 地域清掃活動に参加する。

6. 化学物質の適正な管理

- ① 工事現場で塗装・溶剤・混和剤・接着剤のような化学物質の使用があるときはそれらの安全性データシートを現場事務所に備え置く。

V. 環境経営目標の実績

第47期に環境への取組を行った結果、次のような環境経営目標に対する実績が得られました。第47期の二酸化炭素総排出量は112,685.39 kg-CO₂でした。

取組の実績（令和3年10月～令和4年9月）

	目標	単位	目標値	対象期間中の実績	達成率(%)	評価
1	二酸化炭素排出量の削減（第44期の実績を基準に1.5%削減させる）					
	二酸化炭素排出量 （事務所）	kg-CO ₂	77,541	75,171	103.1%	○
	二酸化炭素排出量 （無添加事務所）		7,254	5,191	128.4%	○
	二酸化炭素排出量 （現場）		25,946	32,323	75.4%	×
	電気使用量の削減（全社）（第44期の実績を基準に1.5%削減させる）					
	電気使用量の削減 （事務所）	kWh	37,929	49,868	76.1%	×
	電気使用量の削減 （無添加事務所）		15,667	11,212	128.4%	○
	電気使用量の削減 （現場）		44,915	53,610	80.6%	×
	ガソリン使用量の削減	L	25,853	22,449	113.2%	○
	軽油使用量の削減	L	1,958	2,593	67.6%	×
灯油使用量の削減	L	39	325	633.3%	×	
2	廃棄物排出量の削減 （可燃ごみ）	kg	529	536	98.7%	△

	目標	単位	目標値	対象期間中の実績	達成率 (%)	評価	
3	建設産業廃棄物 混合廃棄物の排出量 (率) の削減を図る。	t	総排出量 196.29 t	650.31	161.4%	○	
			混合廃棄物 111.68 t	142.79			
4	水使用量の削減 (全社) (第 44 期の実績を基準に 1.5%削減させる)						
	水使用量の削減 (事務所)	m ³	128.0	106	117.2%	○	
	水使用量の削減 (無添加事務所)		46.2	21	154.5%	○	
	水使用量の削減 (現場)		859.9	406	152.8%	○	
5	「無添加住宅」事業を通じ、地球環境と生態系、人体への負荷の少ない建築を進める。	億円	2.0 億	0.44	22.0%	×	
	グリーン購入の推進	円% (購入率)	56.0%	41.6	74.4%	×	
	再生資材の使用の促進	再生 CR40 t	969t	606.6	62.6%	×	
		再生アスファルト t	152t	199	130.9%	○	
	地域貢献活動	事務所周辺清掃活動	回	12	19	158.3%	○
		地域清掃活動参加		1	0	0%	×


達成状況の判定 ○ : 達成率 ≥ 100% △ : 100 > 達成率 ≥ 85 × : 達成率 < 85



* 削減目標の達成率は目標に対する削減率を示す。【達成率】((目標値 - 実績値) / 目標値 + 1) × 100


* 増加目標の達成率は目標に対する増加率を示す。【達成率】((実績値 - 目標値) / 目標値 + 1) × 100



電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成 29 年度排出係数 0.463 kg-CO₂/kwh を使用した。

VI. 環境経営計画の取組結果の評価と次年度の取組内容

	項目	取組内容	担当者 実施体制	写真
1	二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン設定温度を決め、実行する (冬23度・夏26度) ・従業員はエレベーターの使用を控える ・エコドライブの推進 	山口	
コメント				
<p>第47期は基準値より1.5%の削減に取り組みました。電気量については、対前年 事務所 3,544 kWh 増加。無添加モデルハウスは、42kWh の減少。現場においては、受注量の増加で 29,162 kWh 増加する結果となった。ガソリンの使用量については、年間で 1,456ℓの減少。113.2%で目標達成。軽油 475ℓ、灯油 325ℓともに増加した。47期燃費向上の取組については、全体で46期は1ℓ当 14.394km に対し、47期は 14.695km と若干であるが向上した。</p>				

2	廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙の利用 ・ペットボトルの回収、リサイクルボックスへの持込 	稲田	
コメント				
第 47 期は、基準値より 1.5%の削減に取り組みました。46 期より、紙類をリサイクルに排出しているが、対前年 年間で 5 袋増加。目標に若干とどかなかった。				
3	産業廃棄物の内、混合廃棄物の排出量(率)の削減を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・現場代理人は建設産業廃棄物管理票の管理を確実にし、責任者に報告する ・各現場の分別収集を徹底させる 	緒方	
コメント				
第 47 期は、混合廃棄物を基準値より 5%削減に取り組みました。総排出量 650 t 対前年 62 t の増加。混合廃棄物 142 t 対前年 60 t の増加。ともに目標を達成できなかった。但し、久山作業所からの排出量は、前年 44 t に対し、今期は 12 t と減少できた。				

4	全活動の総排水量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水活動の推進、使用実績の周知 ・ マイコップの使用推進 	山口	
コメント				
<p>第 47 期は基準値より 1.5%の削減に取り組みました。事務所対前年 28 m³減少。無添加事務所 50 m³減少できたが、現場使用分は、工事量の増加により対前年 315 m³増加した。全体としては、目標達成することができた。</p>				
5-1	「無添加住宅」事業を通じ、地球環境と生態系、人体への負荷の少ない建築を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境と人体に配慮した「無添加住宅」の販売の推進 	城戸 常務	
コメント				
<p>モデルハウス、完成見学会への来場者の確保が難しく、前年 23 組に対し、今期は 21 組。目標未達成。</p>				
5-2	グリーン購入推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品エコマーク商品の購入率アップを図る ・ グリーン購入 手順書の作成 	稲田	
コメント				
<p>目標購入率 56%に対し、41.6%。目標未達成。 総購入額累計は、前年 364,835 円に対し、今期は、562,247 円の結果であった。</p>				

5-3	再生資材の使用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材発注において、再生資材の可能性を検討し、可能な場合は確実に再生資材を利用する。 	緒方		
コ メ ン ト					
<p>第 47 期は、基準値より使用率 7%増加を目標とした。</p> <p>再生CR40 今期 606.6 t 前期 933.6 t</p> <p>再生アスファルト 今期 199.0 t 前期 77.2 t</p> <p>再生CR40 対前年 327 t 減少。目標未達成。再生アスファルト対前年 121.8 t の増加。目標達成。</p>					
5-4	地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社事務所周辺の清掃活動を実行する ・ 地域清掃活動に参加する。 	山口		
コ メ ン ト					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所周辺清掃活動 . . . 年間 19 回実施。目標達成。 ・ 地域清掃活動参加 . . . 新型コロナの影響で、清掃活動自体が未開催となった。 					

次年度の取組内容

48期に向けては、

- ・ガソリンの使用量を前年より削減させる。また燃費向上に努める。
- ・節電、節水を行う。
- ・48期より新たに施工する建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善の項目を追加した。(年4回開催の全体会議で周知徹底をする)

VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認、及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

当社に係わる環境関連法規の遵守状況については、チェックした結果、法令違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟などありませんでした。

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託基準の遵守、保管基準の遵守、産業廃棄物管理票の交付、産業廃棄物管理票の写しの保存期間、管理票交付者の報告書、管理票の写しの送付を受けるまでの期間、投棄禁止、焼却禁止、建設工事に伴い生ずる廃棄物の処理に関する例外	適
	多量排出業者の義務	該当なし
建築基準法	建築材料の品質、内装仕上げ・換気設備及び天井裏等の工事	適
	学校環境衛生の基準 学校の新築・改修工事	該当なし
建築リサイクル法	特定建設資材、建設業を営む者の債務、分別解体等実施義務、対象建設工事、対象建設工事の届出等、対象建設工事の届出に係る事項の説明等、対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項、再資源化等実施義務、発注者への報告等、下請負人に対する元請業者の指導	適
	解体工事業者の登録、変更の届出、廃業等の届出、解体工事の施工技術の確保、技術管理者の設置、技術管理者の職務、標識の掲示、帳簿の備付け等	該当なし
ラージリサイクル法	特定再利用事業者の判断の基準となるべき事項、指定副産物事業者の判断の基準となるべき事項	該当なし
使用済自動車の再資源化等に関する法律	自動車の所有者の責務、使用済自動車の引渡義務、再資源化預託金等の預託義務（自動車リサイクル法）	適
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	該当なし
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	適
オフロード法	事業者及び使用者の責務、使用の制限、雑則、建設業法に規定する建設業を営む者で特定特殊自動車を使用する者が特定特殊自動車（法の施行の前に制作等されたものを含む。）の排出ガスの排出の抑制を図るために取り組むべき措置に関して定めるもの、経過処置	適
都市緑地法	対象区域・届出の確認	適
自然環境保全法	対象区域・届出の確認	該当なし
特定家庭用機器再商品化法	事業所での使用家電（家電リサイクル法）	適
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検・定期点検、エアコン廃棄の際の引渡	適
労働安全衛生法	健康診断	適
	事前調査、作業計画の作成、関係者以外立入禁止、作業員以外立入禁止、特別教育の実施、表示・掲示、呼吸器用保護具の着用、切断時の湿潤化、運搬時の飛散防止、作業の記録、石綿健康診断	該当なし
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施届出、作業基準の遵守	適
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	建築物エネルギー消費性能基準の遵守	適
気候変動適応法	事業者の努力義務	適

Ⅷ. 代表者による評価と見直しの結果

令和4年11月15日に見直を行いました。

電気量については、事務所は対前年7%の増加。無添加事務所は3%の減少。現場においては、期中の工事が本来の工事量に回復し、対前年219%の増加となった。ガソリンの使用量については、対前年1,456ℓ削減することができた。燃費についても、46期 全社員平均燃費 1ℓ当 14.394km に対し、47期は、14.695km とのぼすことができた。

可燃ごみは、目標を4袋オーバーする結果であった。

産業廃棄物においては、総排出量、混合廃棄物ともに前年より工事物件が増えたため、増加する結果となった。

水の使用量については、現場分が増加したものの、全体では達成することができた。

無添加住宅の受注においては、年々モデルハウスへの来場者が減少しており、結果として、受注額、棟数ともに目標を達成できない状況が続いている。

グリーン購入率についても、昨年同様、目標達成にいたっていない。

再生アスファルトは、目標を達成。再生CR40は、目標を達成できなかった。ともに特定の工事現場の使用状況が影響している。。

地域貢献活動については、事務所周辺清掃は年間19回実施。目標達成。地域清掃活動は新型コロナウイルスの影響で今期も未開催であった。

48期に向けては、ガソリンの使用量を前年より削減させる。また燃費向上に努める。

節電、節水を行う。48期より新たに施工する建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善の項目を追加した。(年4回開催の全体会議で周知徹底をする)

香椎建設株式会社
代表取締役 城戸 崇吉